

大石便り

1月号
毎月1回発行
(第7号)

「講」特集

「太子講」㊶・㊷

12月に入り、北方部と下大石地域で、聖徳太子を祭る『太子講』が行われました。太子講は、江戸時代から続く伝統行事で、男性だけで行われています。

北方部の上地域（高谷・大木下・杉菜畑）は集会所で、下地域（長畑・谷神・藤本）では宿（個人宅）で行われました。下大石地域では、出広・倉波・西館・宮脇が4集落合同で太子講を行い、台馬越や三ノ輪は温泉旅行を兼ねた太子講で親睦を深めました。それぞれ、掛け軸をお参りし、お餅などが振舞われました。



『高砂』を唄う北方部上地域



北方部下地域は家庭料理で



三ノ輪は温泉でリラックス



真ん中が聖徳太子像



古い目録も残存

「南方部の講」㊸

山の作業の安全祈願が発祥とされる『山の神講』が、11月25日は坊ノ内集落、12月8日は小坂集落で行われました。小坂集落では、佐須の神社でお札を受け、忘年会を兼ねて温泉で一泊しました。

広畑集落では、12月8日に『八日講』が行われ、庚申真言を33回、巳待真言を17回唱えました。



坊ノ内の山の神講(上)／真言を唱える(下)

「お寺の講」㊹

11月30日、大善寺で『報恩講』法要が行われました。前日までに門徒によって「お磨き」や「お飾り」などの準備がされました。当日は、勤行（ごんぎょう）や布教

師のご法話を聴聞し、そのあと、お斉（とき）が振舞われました。



宗祖・親鸞聖人への報恩謝徳のために営まれる法要

12月2日は、霊山寺で『大師講』が行われ、天台大師（智顛）、伝教大師（最澄）、慈覚大師（円仁）の供養祭が厳かに行われました。清海大僧正らにより大供養が執り行われ、供養終了後には、檀家にお齊の膳が振る舞われ、紅白の餅も配られました。（精）



大師様の供養(上)／約600個の餅作り(下)

「ほれ話」：「子どもが小学生を卒業したので、小学校の行事には行きにくい」と耳にすることがありますが、児童が少ない現在は、地域の皆さんが参加・交流することで、小学校の行事に活気が出ています。(支)

「学習発表会に向けて」

11月（大石小学校）

木村準さんと大石小児童



専門家の演技指導を受ける児童たち。保護者や大石の住民の方々も、衣装作りなどで協力しています

「交通安全の看板設置」

12月2日（大石地区内）

交通安全協会霊山分会



大石小の児童が描いた道路標語の看板を、交通安全協会で道路端に設置しました

「大注連縄架け」しめなわ

12月23日（霊山神社）

霊山神社氏子総代



3日間かけて3本の注連縄を作り、大鳥居などに架けました。また、門松も2対作り、本殿などに設置しました

「年末の大掃除」㊟

12月23日（南方部会館）

南方部会



女性部、太鼓保存会を合わせた21名が参加し、室内清掃や窓ガラスの水洗いをして汗を流しました

「お便り」

「お正月用フラワーアレンジメントに挑む!!」

下大石ふれあいサロン

菅野ケイ子

12月26日、年の瀬の忙しい中ではありましたが、講師に伊東生花店の渋谷洋子先生を迎え、お正月に向けてのフラワーアレンジメントを学びました。参加者21名には、それぞれのお正月を華やかに飾りたいという想いがみなぎっておりました。先生が一人一人を巡り、手を取って助言して下さい、和気あいあいの中、すばらしい作品が出来上がりました。



正月用ということで、ちょっぴり厳かな雰囲気になりました

京曆きょうよみ（睦月）

【蹴鞠始め】けまり

一月四日に下鴨神社で行われる行事。御所の伝統芸能として伝承されてきたが、その後、京都蹴鞠保存会が、皇室とゆかりの深い下鴨神社で復活した。



く京・放浪記きょう

清水寺で除夜の鐘を聞き、高台寺境内で温かい甘酒をいただく。そんな年越しは古都ならではの。年が明けると、「かるた始め」「弓の引き初め」など、年始行事が多数あります。

赤ちゃん



横山 夢夏ちゃん(三ノ輪)
(平成24年8月14日生まれ)
両親：横山 隆・奈々 夫妻

お風呂大好き。温泉好きのじっちに似たかな

わんこ



れい(メス・推定10歳)
種類：雑種
飼い主：大橋 一さん(谷神)

ドッグフードより、牛乳が大好物だワン

活動団体

大石楽生会

らんせいかい

【代表】大橋 万五郎(杉菜畑)
【会員数】約180名
【設立年】不詳(戦後)
【組織】女性部、ゲートボール部

【おもな活動】

だんごさし(大石小)、友愛訪問、お寺の清掃、初盆参り、霊山町文化祭シルバー展出版、慰安旅行(春・秋)

【一言】

みんなで助け合いながら仲良くやっています。60歳から入れるので、若い世代ともっと交流できると良いと思います。



小正月行事『だんごさし』を大石小で伝承しながら、児童との交流を楽しんでいます

集落

阿久津(あくつ)

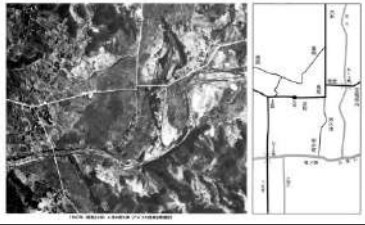
【世帯数】20世帯
【字名】阿久津、鳥居、桂堂、梨木町、反町、滝ノ原
【地理・歴史】

昔から大石地区の交通の要衝に位置し、農業を中心に製材、医院、蹄鉄、メリヤスなど多種多様な仕事を起業し、活気ある生活を営んでいた。

【建造物、史跡】

阿久津集会所、稻荷様、滝原遺跡、二ノ鳥居遺跡(かつて発電所、散宿所、自動車教習所、稚蚕飼育所もあった)
【行事】花見(4月)、旅行会(10月)、収穫祭(11月)。

阿久津の歴史(写真編)



昔を知っている人や写真が残っているうちに記録を残そうと編集され、住民に配布された(平成23年5月発行)

「交通安全 親子標語」

- 菅野 千里さん親子(阿久津)
「自転車で 命を守る ヘルメット」
- 「あぶないと 言うより親がまず手本」
- 齋藤 匡翔くん(稻荷内)
「右左 ちゃんとかくにん わたろうね」
- 高野 倅さん(田代)
「げんきよく あいさつして ね いきかえり」
- 齋藤 萌々果さん(稻荷内)
「帰り道 二れつになつては あぶないよ」
- 須田 智哉くん(右代)
「自転車に 乗るとき必ず ヘルメット」
- 大友 瑞咲さん(倉波)
「きらきら光る 反射板 君の命守ってる」
- 大橋 美里さん(西館)
「通学路 なれた道ほど 危険がいっぱい」

行事予定

1月

15(火) 初護摩供養(靈山寺)

御正忌法要(大善寺)

16(水) だんごさし(大石小)

2月

3(日) 学習発表会(大石小)

17(日) 交通安全祈願祭(靈山神社)

※日程未定の行事

右代(山の神講)、台馬越(初午)、出広・倉波(初午)

注：日時や時間に変更になる場合があります

二十四節気

○小寒(しょうかん) 1月5日頃

寒さが厳しくなり始める頃【寒の入り、セリ、雄雉鳴】

○大寒(だいかん) 1月20日頃

寒さが最も厳しい頃【寒稽古、ふきのとう、鶏卵】

だんごさし



小正月の伝統行事で、ミズキの木に団子や飾り物をして、「五穀豊穡」「一家繁栄」「無病息災」などを祈願する。昔は各家庭で団子を飾り、子どもたちが『団子くんちコンコン』と回ってきたりした。福島以外では、宮城、山形、新潟などで行われている。

お知らせ

◎大石小学校より

2月3日、「学習発表会」を開催します。「ふるさと靈山」を題材にした児童たちの演技を、リニューアルした体育館でご鑑賞ください。
第1部 大石ふれあい会・芸能発表
第2部 学習発表会

『桑の実が見る夢』

募集

◎りょうぜん里山がっこうより

「よー子ばっばの発酵食レシピ教室」

自然食料理研究家の本田洋子先生による料理教室を開催します。

○1月21日(月)

キムチづくり体験

○2月18日(月)

梅干し活用メニュー体験

○3月19日(月)

終了式(みそピッツア&甘酒)

●受講参加費 各1500円

●申込先 里山がっこう 高野

024(587)1032

編集後記

新年になりました。今年もよろしくお願ひいたします。

大石便りを始めて半年がたちましたが、振り返ってみると、記事内容が行事やイベントなどに偏っていたような気がしました。今月から、大石の人や歴史などにもスポットを当て、地元ならではの情報をお届けします。

また、支援員が2年間過ごした「京都」を記事にしてみました。福島県への被災地支援やNHKドラマ『八重の桜』でも繋がりがあつた「京都」。いにしへの地に思いを馳せてみませんか。

次号の編集会議は、

★2/1(金) 19:00～ (ふれあいセンター)

(新年会の写真や記事などありませんか。皆様の投稿、お待ちしております。)

次号(2月号)は、2/14(木)発行予定

【今月の記事・写真の投稿】

村松初さん、大石精さん、菅野ケイ子さん、菅野勝司さん(掲載順)

連絡先

960-0893 伊達市靈山町掛田字段居 45 靈山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL: 024-586-3401 FAX: 024-586-2144 E-mail: kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp

大石便り

2月号
毎月1回発行
(第8号)

「感動の学習発表会」

2月3日、大石小学校で学習発表会が開催され、相馬市で活動する「NPO法人^{3.11}こども文庫」(蟹江杏代表)のプロジェクトで、演出家・木村準氏らの演技指導により、「ふるさと霊山」を題材にした演劇『桑の実が見る夢』が披露されました。

マルベリー(英語で「桑、桑の実」の意)という名の少女を中心に、少年、老人、家族、養蚕、伝統文化、精霊、自然、そして霊山をテーマにして、大石小の児童たちがたくましく「ふるさとで生きていく」ことを、心と体で表現しました。児童たちはもちろんのこと、教諭、都会から来たアーティスト、地域住民にも、心に刻まれる一日となりました。



色鮮やかな衣装で、賑やかな舞台に



低学年のかわいい猛獣たち(左上)、会場の体育館はいっぱい(左下)

主役で頑張った少年・少女(右上)、霊山太鼓などの伝統も披露(右下)

「大石ふれあい会が賛助出演」

第一部では、大石ふれあい会が賛助出演として芸能発表を行いました。院主きらく会の『おらほの体操』や、菅野幸夫婦の『おしどり道中』など、12演目が披露され、観客を魅了しました。



衣装作り(左上)と本番のメイク(左下)では保護者も協力

東京から来た木村準さん(右上)、指導に熱の入る教師陣(右下)

「だんごついで交流」

1月16日、大石小学校体育館で、小正月行事『だんごさし』が行われました。

大石楽生会の皆さんの協力で、児童たちと一緒に団子作りや飾りつけを行い、千本杵による餅つきも行なわれました。餅つき後は、みんなで輪になって、きな粉餅をいただきました。

大石地区に残る伝統行事を伝えながら、お年寄りと子どもとの交流が深まる良い機会となりました。

一緒に団子や風船、短冊、などを飾りつけ



つき立てのお餅を食べながら楽しく交流

「初護摩供養」㊦

1月15日(靈山寺)

靈山寺住職ほか



新年に当り、家内安全、家運招隆、家業繁栄、五穀豊饒等を祈念する護摩供養が厳修され、檀家が参拝した

「御正忌法要」㊦

1月15日(大善寺)

大善寺住職、義信会



親鸞聖人の命日に、大善寺門徒「義信会」が営む御正忌法要。法要終了後には、義信会の総会が行われた

「サロン新年会」㊦

1月21日(北方部会館)

北方部女性サロン



お昼は団子汁を作り、持ち寄りの漬物などをいただきながら歓談。午後は、マフラー作りで楽しんだ

「靈山学・最終回」

1月25日(靈山中央公民館)

大橋喜博さん(杉菜畑)



靈山ニンジン会事務局長の大橋喜博さんが講師を務め、靈山ニンジンの効能や商品などの話をされた

「お便り」

「柴田トヨさんのよひに」

大石 精(倉波)

1月20日、明治・大正・昭和・平成と、一世紀を生きてきた詩人・柴田トヨさんが、101歳で天寿を全うされました。トヨさんは90歳から詩作を始め、98歳で処女詩集を出版しました。

私も年金生活に入りましたが、トヨさんの年齢まで30年以上あり、トヨさんからみれば、まだまだ子どもです。今後も健康に気を遣いながら、トヨさんみたいな素敵な人生を送りたいと思います。

『貯金』 柴田トヨ

私ね
人から やさしさを貰ったら
心に貯金しておくの
さびしくなった時は
それを引き出して 元気になる
あなたも
今から積んでおきなさい
年金より いいわよ

(詩集『くじけないで』より)

京 曆しよめ(如月)

【冬の京都】

神社や名刹が雪化粧する京都。写真は世界遺産の金閣寺。2月は各地で節分が行われ、「豆まき」をはしごできる。同時に行われる「狂言」も見所。



く 京・放浪記 く

「京都の冬は寒い」といわれますが、東北の寒さほどではありません。2月は観光客が最も少ない時期なので、ゆっくり観光したい方は、静かなこの時期が最適かもしれません。

わんこ

チーズ(オス・8ヶ月)

種類：マルチーズ
飼い主：大橋 マツエさん(西館)



野菜やフルーツが大好きなヘルシー犬です

風物詩

大石の雪景色



史跡名勝の多い大石地区の雪景色には情緒があるものが多い。(写真は、八百萬大神の石碑群)

活動団体

R・虹の会

【種類】 スポーツ民謡

【代表】 大橋幸子(長畑)

【会員数】 15名

【設立】 平成2年、「霊山賛歌を踊る会」として発足

【練習日】 毎週水曜日

【おもな活動】

大石小運動会、敬老会、町文化祭などイベントへの参加。福祉センターや介護福祉施設への慰問活動など(年15回程度)

【一言】

和気あいあいと楽しく踊りながら、毎年新しい曲に挑戦していきます。これからも地域との交流を深めながら、長く続けたいと思っています。



大石小学校の学習発表会で、賛助出演したR・虹の会。『東北音頭』を披露した

集落

稲荷内(いなりうち)

【世帯数】 28世帯

【字名】 稲荷内、西ノ入(平、下川原)

【組織、団体】 婦人会(有志)、稲荷内生花クラブ

【地理・歴史】

東に代皇山、西に広瀬川が流れる。集落に咲く枝垂れ桜は三春の滝桜が由来。現在、大石小児童7名は大石では最多。

【建造物、史跡】

稲荷内集会所、稲荷様

(かつては駐在所、精米所、発電所の事務所があった)

【行事】 婦人会旅行(2月)、古峯明神祭礼・合同(4月)、稲荷様祭礼(9月)



大正時代の伊達蚕種合名会社の「日下蚕館」。写真は東大教授が知事と共に視察(車はフォード)

「サロンって?」

Q：サロンって何?

A：伊達市社会福祉協議会が推進する「ふれあい・いきいきサロン」事業です。

Q：誰が対象なの?

A：地域住民みんなが対象です。高齢者、子育て、障害者などタイプはいろいろ。

Q：どんなことをしたらいい?

A：おしゃべりやお茶、運動やゲームなど。やりたいことをみんなで相談して。

Q：場所はどこでやるの?

A：集会所など、みんなが歩いて行けるような場所で。

Q：補助はされるの?

A：一月千円(年6回以上で1万5千円)を助成します。

Q：手続きはたいへん?

A：申込み時に申請書や年間計画書、終了時に報告書の提出はありますが、書類は簡易です。年度ごとの申請で、来年度分は4月からスタート。

※詳しくは、社協までお問い合わせください。

行事予定

2月

17(日) 交通安全祈願祭(霊山神社)

山の神講(右代)

24(日) 熊野様参拝(山形県南陽市)

霊山道先案内人会・総会

3月

1(金) 学校評議員会(大石小)

6(水) 霊山生き生きクラブ・終了式

10(日) 北方部ボウリング交流会

17(日) 初午(台馬越、出広・倉波では稻荷様祭礼)

注：日時や時間に変更になる場合があります

二十四節気

○立春(りっしゅん) 2月4日

少しずつ寒さが緩み始め頃【東風、ウグイス、春一番】

○雨水(うすい) 2月18日頃

雪から雨に変わり始める頃【土潤う、霞立つ、草木萌え】

山神

相馬郡飯館村の虎捕山に鎮座する山津見神社は、永承6年(1051年)創立の古社。山の神を祭る神社で、山仕事や農業の守護、産業守護などを司る。

大石地区内にも信仰している集落は多く、石碑などがあちこちで見られる。



募集

◎北方部地域活動

推進委員会より

北方部住民の健康増進と親睦を兼ねて、「北方部ボウリング交流会」を開催いたします。

○日時：3月10日(午後5時)

○会場：カラシマボウリング

担当：大橋 喜一

※まだお申し込みでない方は、

各班の活動推進委員まで。

◎里山がっこうよら

震災や原発事故に負けないために、「未来につながる合唱の力」として『里山合唱団』を結成しました。

3月31日のコンサート開催に向けて、合唱団員を募集してまいります。合唱が好きな方、関心のある方は、気軽に足をお運びください。

○毎週土曜日(午後1時30分)

○合唱指導は佐藤香先生

○申込先 里山がっこう 高野

024(587)1032

編集後記

大石小学校の「学習発表会」は見に行かれましたか。劇団のよな厳しい練習を積んで臨んだ発表会は、素晴らしい合唱と演技で感動を与えてくれました。200人の地域住民が詰め掛けた会場の熱気も、子どもたちに伝わっていたと思います。

また、音響や照明などの舞台作りも素晴らしく、プロの手に掛かると、こころも変わるものなのかと、感服するばかりでした。

こころした「本物」に触れる機会の必要性と継続性を、改めて再確認しました。(支)

次号の編集会議は、

★3/1(金) 19:00～ (ふれあいセンター)

(子ども、家族、昔の写真、総会の予定などありませんか。情報をお待ちしています。)

次号(3月号)は、3/14(木)発行予定

【今月の記事・写真の投稿】

大石精さん、村松初さん、日下園子さん(掲載順)

連絡先

960-0893 伊達市霊山町掛田字段居 45 霊山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL: 024-586-3401 FAX: 024-586-2144 E-mail: kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp

大石便り

3月号

毎月1回発行
(第9号)

「生き生きクラブ・終了式」

3月6日、『靈山生き生きクラブ・終了式』が靈山ふれあいセンターで行なわれました。

生き生きクラブは、昨年5月から月2回(計20回)開催され、うち作りや映画鑑賞、移動学習(土湯温泉)などをしながら、楽しい一年を送ってきました。

今回は今年度最後の『終了式』で、靈山総合支所副支所長や民生委員さん等が挨拶を行いました。

終了式後、佐藤ミズズさん(小坂)

による舞踊や「仲良し音頭」で楽しみ、午後は、大橋萬喜さん(高谷)が撮りためたビデオを鑑賞しながら、一年を振り返りました。

※来年度の募集を受け付けています(詳細は4ページ)



千葉会長より皆勤賞の授与



「仲良し音頭」で元気よく



みんなでビデオ鑑賞



生き生きクラブ会員や民生委員、靈山総合支所副支所長、スタッフで記念撮影

「バレーボール大会」

3月3日、大石小学校体育館で『靈山公民館長杯バレーボール大会』が開催されました。

大石地区の3チームが参加し、男子3名・女子5名の混合チームでリーグ戦が行われました。優勝は下大石、準優勝が南方部、3位が北方部チームでした。

中学生から60代までバラエティーに富んだ年代が揃い、熱の入ったプレーの中、笑顔で楽しい交流の一日となりました。(初)



槻林恵美子さん(院主)の選手宣誓でスタート



楽しみながらも、地区の名誉のためにみんな一生懸命

「スポーツ吹矢で競技大会」

2月17日、靈山ふれあいセンターで、県スポーツ吹矢協会靈山支部による新春競技大会が開催されました。参加者14名が、8メートルの距離からの向かって吹矢を吹き、得点を競い合いました。

表彰式では、賞状や参加賞などが贈呈され、大会後には、昼食を食べながら親睦を深めました。(精)

【男子の部】

優勝：大橋重治さん(出広)

2位：八巻良一さん(出広)

3位：大橋茂美さん(西館)

【女子の部】

優勝：菅野豊子さん(泉原地区)

2位：高橋淳子さん(小国地区)

3位：佐藤淳子さん(掛田地区)



真剣な表情で競技に臨む参加者たち。スポーツ吹矢式呼吸法で、集中力と健康増進もアップ

「中山間地域を考える」

1月23日(伊達市役所)

地域おこし支援員



伊達市議の『中山間地域を考える会』の活動報告会で、大石地区での活動事例や課題などを発表しました

「交通安全祈願祭」

2月16日(霊山神社)

交通安全協会霊山分会



霊山管内(大石・泉原・中川)の交通事故ゼロと会員の安全を願い、神前に玉串を奉げて祈願を行いました(初)

「山の神講」

2月17日(右代集落)

山神塔・右代集会所



雪が残る中、『山の神講』が行なわれました。時代とともに形は変わりましたが、伝統を守り続けています(節)

「鮭の稚魚を放流」

2月20日(祓川・三ノ輪橋)

大石小1・2年生の児童



小学校の水槽などで卵の孵化から育てた鮭の稚魚を、『広瀬川に鮭を戻す会』の協力で、祓川に放流しました

「お便り」

「稻荷内婦人部で親睦」

菅野 リン子(稻荷内)

1月、婦人部で新年会を開き、今年の目標を話し合い、懇親会で親睦を深めました。

2月17、18日には、阿武隈急行に乗って、福島駅界隈の商店街で散策や食事をしました。暇なようでもなかなか出来ない事で、楽しいひとときを過ごしました。その後、土湯温泉に一泊し、日頃の疲れを癒しました。

新年会では、持ち寄りの料理で懇親



美味しい料理をいただきました

【梅】

京 曆(孫生)

梅に所縁のある名所が多い京都。梅を愛した菅原道真公が、北野天満宮から太宰府へ下る際に詠んだ「東風吹かば 句ひおこせよ 梅の花 主なしとて 春を忘るな」は有名。また、下鴨神社にある梅は、尾形光琳作の「紅白梅図屏風」のモデルと云われている。



下鴨神社「光琳の梅」



赤ちゃん

大橋 莉子ちゃん (杉菜畑)

(平成24年3月3日生まれ)

両親：大橋 勇雄・理笑 夫妻



万五郎さん・サツさんの4番目のひ孫です

わんこ

チビ (メス・推定5〜8歳)

種類：ミニチュアダックスフンド
飼い主 佐藤 顕次さん (右代)



かまってもらいたくてうんとよく吼える

活動団体

消防団

伊達市消防団霊山支団

■第三分団第一部

○地域：南方部、北方部

○団員：24名

○部長：大橋倍巳 (院主)

■第三分団第二部

○地域：下大石

○団員：12名

○部長：菅野善一 (宮脇)

【おもな活動】

夜警 (金曜夜)、中継送水訓練、初午行事など

※現在、消防団員を募集しています (随時)



空気が乾燥しているので、火の元には十分ご注意ください



集落

院主 (いんず)

【世帯数】 34世帯

【字名】 院主、近江屋敷、落合、小和清水、桐ノ口、古屋館

【地理・歴史】

神社やお寺を中心に、比較的新しく移住してきた人が商売などを始めた。名字が多彩。

【建造物、史跡】

霊山神社、大善寺、薬師堂、院主坊・清水坊、南方部会館

(かつては旅館、呉服屋、下駄屋、蹄鉄屋、寺子屋などもあり、寺門市が行なわれていた)

【行事】 薬師堂祭礼 (5月)、芋煮会 (10月)



約40年前の太子講。雪が降る中、若者がふんどし姿で餅をつく姿が印象的

農時暦 (春)

【3月】

○水田：種もみ準備 (彼岸頃)

○畑：畑起こし、エンドウの追肥、ジャガイモ植付け

○果樹：桃・柿などの剪定

【4月】

○水田：田起こし、播種・育苗

○畑：野菜の種もの準備・育苗、エンドウの支柱立て

○果樹：芽選り、花選り

【5月】

○水田：くろつけ (畦塗り)、代掻き、田植え

○畑：野菜の苗定植、エンドウの収穫



霊山を背景に田植え

行事予定

3月

17(日) 初午 ※台馬越、出広 倉波では稲荷様祭礼

南方部会・総会(南方部会館)

22(金) 卒業式・第三学期終了式(大石小)

23(土) 北方部行政区・総会(北方部会館)

30(土) 大石小アートパフォーマンス関東公演

(埼玉県飯能市・自由の森学園)

31(日) 「友よ、あの日から」コンサート(里山がっこう)

4月

3(水) 大石楽生会・春の親睦旅行(〜4日・横向温泉)

8(月) 入学式(大石小)

二十四節気

○啓蟄(けいちつ) 3月5日頃

大地が温まり、虫が穴から出てくる頃【虫・蝶、桃花】

○春分(しゅんぶん) 3月20日頃

昼と夜の長さがほぼ同じになる頃【雀、桜、春雷】

初午(はつうま)

初午の日には、稲荷神を祀る行事が行われ、五穀豊穡などが祈願される。

初午の日には、消防団員が各家庭を回って火の用心を呼びかけ、お札を配る習慣がある地方もあり、大石地区でも行われている。



新築の水揚げ式

お知らせ

◎「友よ、あの日から」

コンサート

○3月31日(日) 13時30分開演

○1部：民族歌舞団荒馬座と霊山太鼓等の公演

2部：「友よ、あの日から」合唱団等

○りょうぜん里山がっこう大広間

○入場料500円(中学生以下無料)

■問合せ先 里山がっこう 高野

024(587)1032

募集

◎霊山生き生きクラブ

○毎月第1・3水曜日

○午前10時30分〜午後2時30分

○霊山ふれあいセンター

○概ね65歳以上の高齢者の方

○参加費無料(ただし、材料等の必要経費は実費でいただきます)

○バス送迎あり(無料)

■問合せ先

霊山総合支所 福祉担当

024(586)3403

編集後記

3月に入り、各地で終了式や総会などが開かれ、今年度も終わりに差しかかっています。小学校の卒業式もまもなくです。終わるものがあれば、始まるものもあります。気候が暖かくなるとともに始まるのが、農作業ですが、農家さんが田んぼや畑で何の作業をやっているのか、あまりよく知らないかもしれません。

今回、簡単な農事暦を記載しましたので、田畑での作業を見かけたら、注目してみてください。桜の花が咲く頃は、何をやっているでしょうか。(支)

次号の編集会議は、

★3/29(金) 19:00～ (ふれあいセンター)

(各総会で決まったことなど、耳寄りな情報を募集しています。)

次号(4月号)は、4/11(木)発行予定

【今月の記事・写真の投稿】

村松初さん、大石精さん、小林節子さん、菅野りん子さん、大橋忠正さん、大橋万五郎さん

連絡先

960-0893 伊達市霊山町掛田字段居 45 霊山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL: 024-586-3401 FAX: 024-586-2144 E-mail: kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp

大石便り

4月号

毎月1回発行
(第10号)

「大石小の年度末行事」

3月22日、大石小学校で「卒業式」が行なわれ、9名の児童が卒業しました。また3月27日は、大石小教員の「離任式」が行なわれ、校長と3名の教諭が異動・退任されました。両式とも、在校生が学習発表会の思い出の曲を歌いながら、卒業生や先生を送り出しました。

3月30日には、自由の森学園(埼玉県飯能市)で、学習発表会で演じられたパフォーマンスが起こり、『桑の実が見る夢』が披露されました。最後は、観客によるスタンディングオベーションが起こり、感動に包まれた埼玉公演となりました。



思い出の曲で卒業生を送る



お世話になった先生を花道で



福島県出身の高校生と一緒に



校長より卒業証書が授与される

「初午行事」

3月17日、初午に関わる祭礼や行事が、地区住民や消防団によって行われました。

台馬越集落では、代皇山の中腹に鎮座する稻荷神社で初午の祭礼が行なわれ、足立宮司による神事が執り行われました。

出広集落と倉波集落は合同で、竹ノ下地内にある稻荷大明神で祭礼を行ない、晴海大僧正による五穀豊穡、家内安全の祈祷が厳修されました。



足立宮司から受けた玉串を神様に捧げる



出広集会所に移り、お神酒を頂きながら直会を行なう

また、消防団では、大石地区内にある消火栓の点検作業や放水訓練を行い、屯所前では師団長らによる訓示が行なわれました。



消火栓の点検後、放水訓練を行なう消防団員(出広付近)

「総会」

3月17日、南方部会、婦人部、太鼓保存部の総会が、南方部会館で行なわれました。南方部会では、納涼祭や研修旅行、夏の草刈りなどを今年度も継続し、婦人部でも例年通り、南方部会への協力を行なうことが決まりました。

3月23日には北方部会館で、北方行政区と太鼓保存会の総会が行なわれました。春の健康ウォーキング、夏の納涼祭、秋の芋煮会、新規のポウリング交換会、そして霊山太鼓まつりへの参加などを継続していくことが決まりました。

こぼれ話：北方部のボウリング交流会は想像以上に盛り上がり、参加者から「次はいつやるんだ？」と言う声が上がっていました。ちなみに、参加者26人中21人が「大橋」さんでした。(支)

「ひな祭り交流」

3月9日（ふれあいセンター）
藤間流 藤由貴会



地域の皆様を励まそうと藤由貴会が初めて企画した交流会。「花笠音頭」を見た子どもたちはノリノリでした

「ボウリングで親睦」

3月10日（カラシマボウル）
北方部活動推進委員会



老若男女が交流できる場を作ろうと、新規イベントとして『ボウリング交換会』が開催されました

「カーブミラー設置」

3月24日（田代地内）
交通安全協会霊山分会



生活道路の安全を願いカーブミラーを設置。事業主会より寄贈された思いを受け、事故ゼロの実現を目指します

「プロの伝統芸を堪能」

3月31日（里山がっこう）
荒馬座、合唱団ほか



東京で活動する民族歌舞団『荒馬座』が様々な伝統芸能を披露。第二部では、地元住民で編成された合唱団も熱唱

近隣情報（石田地区）

「春のイベント開催」

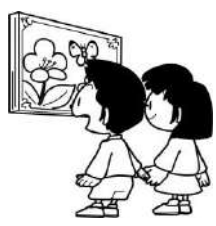
「石田ふるさと振興会」は昨年9月に設立され、さまざまな地域活性の活動を行なっています。

この春のイベントとして、4月21日に地域美化活動の一環で『霊山登山道清掃大作戦』（地域活性化委員担当）を行ないます。

また4月19日～21日の期間には、『春のふれあい展示会』（健康福祉委員会担当）を、石戸ふれあいセンターで開催します。住民の方が作った花や手芸品、工芸品、絵、習字など、自慢のものを持ち寄って展示いたします。

「石田ふるさと振興会」は、まだ始まったばかりの一年生ですが、石田地区の地域振興のために努めていく所存です。

（地域おこし支援員 門馬照）



京きょう 暦れき（卯月）

桜の名所が数多くある京都。平野神社、醍醐寺、仁和寺、京都御苑、哲学の道のほか、市内のいたるところで、赴きのある桜が咲いている。



鴨川沿いの桜

京・放浪記

平安神宮の庭園「神苑」に咲く八重紅枝垂れ桜は、上品で美しい花びらが印象的です。これは「伊達家の桜」と呼ばれていた桜を、平安神宮の創建にあたり、明治時代の仙台市長が苗木を寄贈したものだそうです。

わんこ

ラム(メス・1歳4ヶ月)

種類：フレンチブルドッグ
飼い主：小林 静江さん(西館)



誰にでも寄っていき、頭をなでられると喜びます

風物詩

大石にも三春!?



梅や桜など3つの花が同時に咲く「三春」が、大石でも見られます(写真は昨年の出広付近)

活動団体

らんじょうぶかく

濫觴武楽隊

【代表】草野 常雄(田代)

【設立】南北朝時代?

【役柄】塩振り、隊長、旗持ち、武者、長刀、軍配、ささら、太鼓、大太刀、二番太刀、法螺貝、笛、など

【おもな活動】

霊山神社春季例大祭での『濫觴の舞』奉納

【一言】

大石小学校の協力を得て、授業の一環として『濫觴の舞』を指導し、神社祭礼に奉納しています。地元大石の伝統を継承し、子孫へ伝えていきたいと思っています。



一列に並んで太刀をかざす姿は勇壮。黒袴に白鉢巻・白たすき姿が霊山神社によく似合う

集落

右代(うしろ)

【世帯数】27世帯

【字名】入高野、蝦夷、芳田、右代、日ノ作、日向、太子堂

(田中、小坂)※新道平は通称

【地理・歴史】

部落で納涼祭を開催し、子どもに太鼓を教え、『霊山太鼓まつり』に第一回から参加。

【建造物、史跡】

右代集会所、八百萬大神、岩滝不動尊(かつては青年道場、電々公社社宅、赤滝など)
【行事】山の神講(2月)、愛宕神社祭礼・合同(5月)、芋煮会(10月)、八百萬大神祭礼(11月)



30年くらい前までは納涼祭が部落の一大イベント。現在は芋煮会が秋の楽しみになっている

大石の桜

■下大石

- 代皇山頂上
- 霊山寺墓所への坂道
- 大石小学校

■南方部

- 大善寺(枝垂れ桜)
- 霊山神社(神社下、登坂道)
- 霊山閣
- 湧水の里

■北方部

- 日影の枝垂れ桜
- 80本の桜並木(杉菜畑)

このほか、小さなお堂や集会所付近にも、趣きのある桜が咲いていたりします。ぽかぽか陽気の日には、近所を歩いて、地元の桜を楽しんでみましょう。



行事予定

4月

13(土) 下大石振興会総会(ふれあいセンター)

14(日) 北方部・健康ウォーキング

19(金) 授業参観(大石小)

21(日) 霊山登山道清掃大作戦(石田ふるさと振興会)

24(水) 行政推進員会議(霊山中央公民館)

29(祝) 霊山神社春季例大祭(濫觴の舞、北又の獅子舞他)

5月

3(祝) 愛宕神社祭礼(楮畑・右代)

12(日) 大運動会(大石小)

注：日時や時間は変更になる場合があります



二十四節気

○清明(せいめい) 4月5日頃

万物が清々しく明るく美しい頃 【ツバメ、帰雁、虹】

○穀雨(こくう) 4月20日頃

田畑の準備が整い、春の雨が降る頃 【ヨシ、牡丹、八十八夜】

濫觴(らんじょう)の舞

霊山神社(古くは日枝神社)や石田の鈴嶽神社に奉納される踊り。その由来については、北畠顕家公が蘭陵王を舞った説、鐘や太鼓を乱打しての「乱声」の説、凱旋のときの踊りと言う説、などがある。

ちなみに、濫觴という言葉は「らんしょう」と読み、「揚子江も水源に遡ればさかずき(觴)をうかべる(濫)ほどに微である」ことから、「物事の始まり」の意味で使われている。

出典:「史跡名勝 霊山」より

お知らせ

人事異動がありましたので、お知らせいたします。

◎大石小学校

■転入 (※は校長)

※内山 博行(鏡石町立第一小より)

大釜 拓(葛尾村立葛尾小より)

小野 徳子(福島市立吉井田小より)

■転出

※佐藤 由弘(相双教育事務所へ)

渡邊 大輔(伊達市立保原小へ)

星 沙由美(伊達市立月館小へ)

■退職

藍原 祐二

◎霊山総合支所

■転入・就任

橋内 仙八(総合支所長)

渡辺 正行(総務担当副主幹)

菅野 博昭(総務担当)

福地 知賀子(霊山中央公民館)

■転出

阿部 清(健康福祉部へ)

■退職

菅野 正俊(総合支所長)

三浦 裕子(総務担当副主幹)

佐藤 裕子(霊山中央公民館)

編集後記

春の訪れとともに、桜の花が咲く季節になりました。NHKの大河ドラマ『八重の桜』では、会津藩の戦いが続いています。

歴史にあまり明るくない支援員は、福島の人が山口県をあまり好まない理由や、新撰組や白虎隊の成り立ち等に関して、知らないことが多かったのですが、大河ドラマを見て、その理由が少しずつわかってきました。

福島が歴史の表舞台に立っていた時代があったことに、感慨深いものを感じています。(支)

次号の編集会議は、

★4/26(金) 19:00～ (ふれあいセンター)

(部落内に変った動物を飼っている方はいませんか?)

次号(5月号)は、5/9(木)発行予定

【今月の記事・写真の投稿】

大石小学校、村松初さん、大石精さん(掲載順)

連絡先

960-0893 伊達市霊山町掛田字段居 45 霊山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL: 024-586-3401 FAX: 024-586-2144 E-mail: kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp